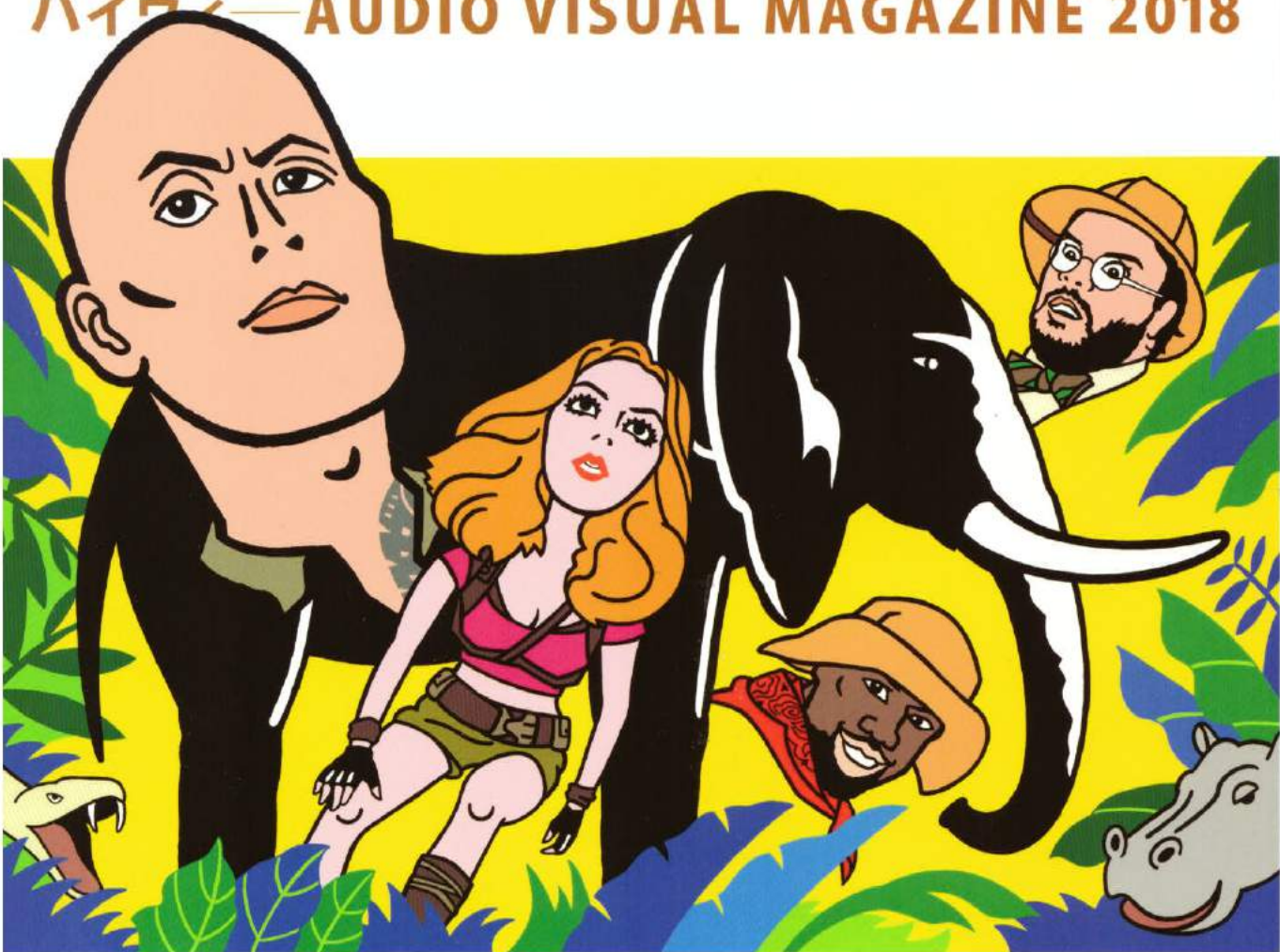


HiVi

ハイヴィー—AUDIO VISUAL MAGAZINE 2018



9

35th
Anniversary

はじめよう、高音質

高音質とは何か？

ゼロから学ぶオーディオの作法

4Kテレビが生きるステレオAVシステム

新たなオーディオ用スイッチングハブ ソムからsNH-10Gが登場

本誌2月号の当コラムで、私は日本テレガートナーのM12スイッチングゴールドというハイエンドなLANスイッチ（スイッチングハブ）を紹介した。ネットワークオーディオの音質を徹底追求している方々には、その名前が知れ渡っているようで、私の知人も愛用しているらしい。太くて硬いオーディオ用LANケーブルが2本とACアダプターがついたM12スイッチングゴールドの価格は、32万円！自宅ですべてを試すことができた私は、世間一般のLANスイッチはオーディオ用ではないのだと痛感した。M12スイッチングゴールドはネットワークオーディオの音質をよくするのではなく、恐ろしくハイレベルに音質を劣化させないのである。

7月の初旬、私は韓国SOM（ソム）を主宰するリー氏からメールをもらった。用事で東京を訪れるので、ミュンヘンのハイエンドショウで発表したLANスイッチの効果を聴いてほしいという依頼だった。まだ試作段階だが、ソムのsNH10GというLANスイッチはオーディオ用に設計されており、オプションで10MHzマスタークロックが入力できる。拙宅では10MHzマスタークロックが活躍しているので、私はぜひとも試したくなった。

音質比較として、私はDELANIAからdCSヴィヴァルディ・システムにダイレクトにLAN接続した状態と、ソムのsNH10Gを経由させた場合で音を比較した。LAN端子は一般的なRJ45である。

その違いは歴然！ソムのLANスイッチを経由した場合は音像がきわめてシャープに定位して、3次元的に広い立体空間が感じられる。これはマスタークロックを使わない状態のとき。常用するGPS追尾システムの10MHz正弦波マスタークロックを接続してみたならさらに雑味がなくなつた印象で、緻密な超高品位サウンドを聴くことができた。これは凄い！M12スイッチングゴールドに比肩するハイエンドなオーディオ用LANスイッチとして、私はsNH10Gの登場が待ち遠しい。価

格はまだ未定という。ネットワークオーディオの未来は明るい。そう確信できた自宅試聴だった。



↑写真はミュンヘンで開催されたHIGH END 2018の様子。8ポートのLAN (RJ45) 端子を装備し、オプションで10MHzのクロック入力にも対応する。発売時期や価格は未定

三浦孝仁
Takahito Miura